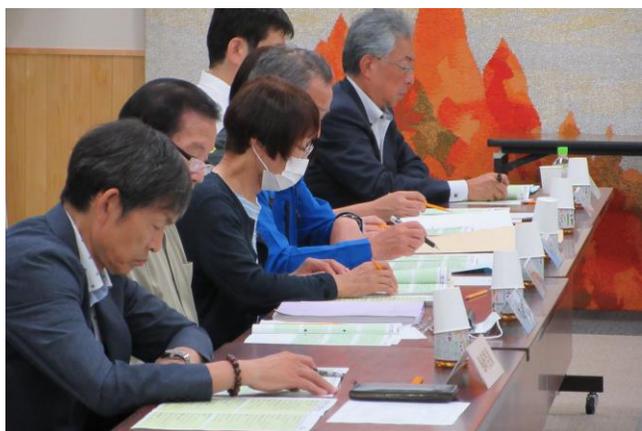


第3回穴水町復興計画策定委員会について

第3回穴水町復興計画策定委員会を**開催**しました

7月26日（金）に第3回穴水町復興計画策定委員会を穴水町役場3階大ホールにおいて開催いたしました。シンボルプロジェクトの具体例について協議し、ご承認をいただきました。その他、復興未来づくり会議と住民説明会、住民アンケートの実施状況について報告し、それぞれ確認をいただきました。



シンボルプロジェクトの具体例（案）について

1. 災害に強いまちづくりプロジェクト

- (1) 子どもたちが自ら考えて適切な行動ができるよう今震災の経験を踏まえた教育
- (2) 要援護者などを含む、町民一人ひとりの避難計画の策定支援
- (3) 防災計画と併せてハザードマップや指定避難所の見直し
- (4) 予測を超える災害にも耐えられるような公共施設やインフラ設備の強化
- (5) 緊急情報を収集可能とするためのフリーWi-Fiの整備及びSNSの活用
- (6) 大規模な災害にも対応できる防災備蓄倉庫の再整備
- (7) 震災を風化させないための復興シンボルの設置 など

2. 地域コミュニティとなりわいの再生プロジェクト

- (1) 地区集会所などの地域コミュニティ施設の再建
- (2) 交流機会の拡大のための地域お祭り支援
- (3) 施設などに被害を受けた農林漁業者への早期再開に向けた支援
- (4) 地域通貨の導入による町内での消費喚起
- (5) 観光面と防災面を兼ね備えた道の駅の整備
- (6) 誘致企業と地元企業の連携の促進
- (7) 移住者向けの新たな宅地の造成
- (8) 定住だけに縛られない二拠点居住者の呼び込み など

3. 魅力ある子育てと教育の環境づくりプロジェクト

- (1) 不足する保育士の安定的な確保
- (2) 放課後などにおける児童の受け入れ体制の確保
- (3) アプリを活用した町民向けワンストップ窓口サービスの実現
- (4) 子育て世代のニーズに合わせた全天候型の遊戯施設の整備
- (5) 大規模災害でもいち早く保育・教育施設として利用できる防災機能の強化
- (6) 小中学校における通学支援の強化
- (7) ふるさと穴水への理解を深めるふるさと教育の強化
- (8) 小中高が連携して学ぶ特色あるカリキュラムの開発 など

4. 奥能登の玄関口再生プロジェクト

- (1) 目的地 穴水となるような穴水駅舎や周辺設備の再整備
- (2) にぎわい創出に向けた商店街の再生
- (3) 穴水駅の交通結節点としての機能強化
- (4) のと里山空港へのアクセスの向上
- (5) 利用者のニーズに合わせたオンデマンド交通の推進
- (6) 住宅に被害を受け、新たに住宅取得・再建される方への奨励金
- (7) 穴水から目的地へとなる新たな物流拠点や新たな物流ルートの整備
- (8) 物流企業の積極的な誘致 など

報告（1）復興未来づくり会議について

①開催日時及び場所、実施内容

開催日時：令和6年7月19日（金）16:00～19:00

開催場所：穴水町役場3階 大ホール

実施内容：4～5名の7班に分かれてグループワークを実施

- ・ここがいいよね穴水トーク
- ・これは解決したい穴水トーク
- ・復興計画に盛り込むアイデア

②メンバー

町からの推薦 14名

穴水高校生 6名

一般公募 12名（町内外含む） 総勢32名

※第1回目の会議では30名の参加がありました。

③意見等

- ・災害時の課題を具体化、災害に強い通信、「日本一広いキャンプ場」の整備
- ・穴水の自然を生かした教育（木育）、室内遊戯施設の整備、穴水再発見の旅
- ・穴水駅舎を複合施設に整備（図書館やフリースペース、カフェ）など



報告（2）住民説明会について

①開催日時及び場所

・令和6年7月20日（土） 9:30～

諸橋公民館（諸橋地区対象）

・令和6年7月20日（土） 13:30～

穴水町役場3階 大ホール（大町地区対象）



②参加者

・諸橋地区 24名

・大町地区 47名



③意見等

- ・地域コミュニティとなりわいの再生プロジェクトについて、地震で集会所や宮の鳥居、境内が壊れてしまったため、対応してほしい。
- ・集会所が全壊となっており、集落の会合ができない。集まる施設がないため、集落が壊れていく。
- ・町の中心部（商店街など）の復興なくして、穴水の復興はない。
- ・シンボルプロジェクトの4つの柱について、町民に進捗状況を教えてほしい。

など

